

第63回生命科学先端研究センター 学術セミナー

日時：平成22年10月20日（水）午前10時から

場所：分子・構造解析施設セミナー室
（杉谷キャンパス共同利用研究棟2階）

講師：板垣又丕 博士（Director, Mass Spec. Core Facility
Department of Chemistry, Columbia University）

演題：New Dimension of Mass Spectrometry, From
Now and Future. *Theory and New Applications.*
- For The Next Generation of Young Scientists -

内容

質量分析（MS）の世界が動いています。科学、医学のみならず多くの先端領域で必須の手法として見なされて来ている様に思えます。特に、未踏の研究領域に踏み込もうとしている若き研究者にとって、質量分析装置の現状を理解し、有効に使用出来るか否かは、思っている以上に大切な事ではないでしょうか。

富山大学でもImaging Mass Spectrometryに関するセミナーが開催されており、日本の質量分析研究水準、関心も世界的に遜色がありません。しかし、実情は、大学教育の中心から少し外れた所にあって、アメリカも同じですが、個人個人の興味、自己学習によって支えられているような気がします。

NMR測定は試料を試料管に入れれば、ほぼ均質の結果が得られますが、MSは測定法によって異なる姿を示します。もう少しこの世界の真実を知れば、面白いと思いませんか。Mass Spectrometryの世界、面白さを理解してもらえよう、時間軸とエネルギー軸の視点からMSの全貌を捉える試みを、無謀かもしれませんが、やってみたいと思います。

今持っている皆さんの研究対象試料と重ね合わせて、質疑応答させてもらえれば幸いです。

※本セミナーは、大学院医学薬学教育部の単位認定の対象となります。
多数のご来聴、特に若手研究者・学生の参加を期待します。

◎問い合わせ先

紺野勝弘（和漢医薬学総合研究所 和漢薬製剤開発部門 准教授）

電話：434-7605 メール：kkgon@inm.u-toyama.ac.jp

五味知治（分子・構造解析施設 准教授）

電話：434-7175 メール：tgomi@cts.u-toyama.ac.jp